

家庭や地域との連携による活用事例

P.82~95

学習の流れ

1 家庭での学習

- ① 家庭で家の人と一緒に八十六ページの振分親方の「メッセージ」を読み、感想を話し合う。
- ② 八十三ページの文章を読み、これまでの生活を支えてくれた人々について、家の人の話を聞く。
- ③ それらの人々が支えてくれたのはなぜかについて、家の人と話し合う。
- ④ 話し合ったことを踏まえて、八十三ページの書き込み欄「なぜ人は自分を支えてくれるのか、考えてみよう。」「なぜ感謝の気持ちをうまく表現できないことがあるのか、考えてみよう。」に自分の考えを記入する。



P.86

- 2 人と支え合って
- (6) 人々の善意や支えに応えたい
- ・ 支え合い共に生きる

◆ポイント

家の人の話から、家族だけでなくたくさんの人々の支えがあって生活することができていることに気付く。



P.82~83

2 道徳の時間

(参観日などに、家庭や地域の人と共に考える)

- ① 読み物資料「帰郷」を読んで、感じたことや考えたことを家庭や地域の人と共に話し合う。
- ② 八十四ページの「伝えられなかった『ありがとう』」を読んだ後、八十五ページを読んで、伝えられてうれしかった「ありがとう」と、伝えたい「ありがとう」について考え、家庭や地域の人と意見を交流する。
- ③ 学習を通して、考えたことや感じたことをまとめる。

◆ポイント

感謝の気持ちはあるけれど、なかなか言葉にできないことがある。けれども、その気持ちを伝えることで、支え合う人間関係は、より深まっていく。

自分の心の中にある感謝の気持ちを率直に表現することの大切さに気付き、感謝の気持ちを表現しようとする意欲を高める。



P.84~85

3 家庭での学習(道徳の時間に考えたことを生かして)

- ① 道徳の時間に考えたことや話し合ったことを、家の人々に伝える。
- ② 家庭で家の人と一緒に、九十四・九十五ページの「知命」を読んで、感想を話し合う。
- ③ 人の支えに感謝し、それに応えるとはどういうことか話し合う。

◆ポイント

人は誰かの支えや善意で生きていること、そして、その支えや善意に感謝し、それに応えることの大切さに気付く。



P.94~95

## 家庭や地域との連携による活用事例

### 学習の流れ

#### 1 道徳の時間

- ① 一七六ページの鈴木邦雄氏の「メッセージ」や、一七七ページの「この人のひと言」を読んで、働くことの喜びや意義について話し合う。
- ② 仕事に生きがいを感じている地域の人の話を聞いて、働くことについての感想を話し合う。
- ③ 自分は将来、どのような仕事に就きたいと思っているか、グループで話し合う。

#### ◆ポイント

働くことへの関心をもち、働くことの意義を見いだそうとする課題意識をもつ。



P.176~177

- 4 社会に生きる一員として
- (5) 勤労や奉仕を通して社会に貢献する

#### 2 家庭での学習(道徳の時間に考えたことを生かして)

- ① 道徳の時間に考えた働くことの意義を家の人に伝える。
- ② 働くことの喜びや意義について、家の人のお話を聞いて、一七三ページの書き込み欄に記入する。

#### ◆ポイント

家の人から勤労に関する話を聞いて、働くことの喜びや意義などをより具体的に考える。



P.172~173

#### 3 学級活動

##### (家庭での学習を生かした職場体験活動の事前学習)

- ① 働くことの喜びや意義について、家の人から聞いたことを発表し合う。
- ② 職場体験活動を通して感じたり考えたりした働くことの喜びや意義を先輩から聞く。(ビデオレター形式でもよい。)
- ③ 職場体験活動に当たっての目標や取り組みたいことを発表する。

#### 4 学校行事(職場体験活動)

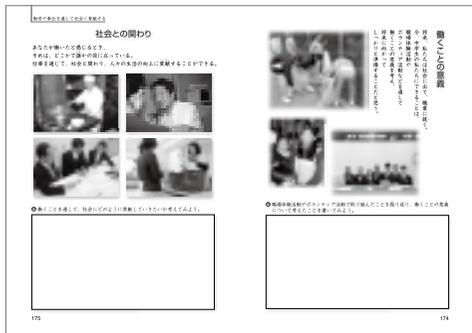
各職場で職場体験活動を行う。

#### 5 家庭での学習(職場体験活動の振り返り)

- ① 職場体験活動を通して考えた働くことの意義について、一七四ページの書き込み欄に記入する。

#### ◆ポイント

職場体験活動を通して、自分なりに感じた働くことの意義をまとめる。  
また、将来、職業人、社会人として自立し、生きがいのある人生を築こうとする意欲や態度へとつなげていく。



P.174~175

- ※例えば、「志フォーラム」と題した勤労と社会貢献をテーマとする発表会を生徒会で行うための準備をする。
- #### 6 生徒会活動「志フォーラム」
- (家庭や地域の人と共に考える)

- ① 「志フォーラム」では、道徳の時間や職場体験活動を通して学んだことを発表する。
- ② 職場体験活動の活動報告を行う。
- ③ 生徒代表、職場体験活動で世話になった職場の方、保護者代表など数名程度のシンポジウム形式で、働くことの喜びや意義、社会への貢献などについて、それぞれの立場から考えていることを語り合う。
- ④ 「私たちの志」発表を行う。
  - ・ 働くことを通して、社会にどのように貢献していきたいかなど、自分の思いを「私たちの志」としてまとめてグループで発表する。

#### ◆ポイント

この学習の流れの始めの頃感じていた勤労観と職場体験活動後の勤労観の違いを比較し、勤労と社会貢献に関してどのように考えが深まったのか、自分の考えをまとめる。また、働くことを通して、自らの人生を切り拓いていこうとする態度を育んでいく。

